

平成 25 年度 北杜市健康づくり推進協議会委嘱式

及び第 1 回健康づくり推進協議会会議録

- 1 審議会等会議の名称：第 1 回北杜市健康づくり推進協議会
- 2 開催日時：平成 25 年 7 月 3 日（水） 午後 2 時 00 分から午後 4 時 20 分
- 3 開催場所：北杜市役所 大会議室
- 4 公開・非公開の別：公開
- 5 傍聴人の人数：1 人
- 6 議 事
 - (1) 健康づくり推進協議会の役割について
 - (2) 第 2 次北杜市健康増進計画について
 - (3) 平成 24 年度事業実績及び平成 25 年度事業計画について
 - (4) 健康づくり標語について
 - (5) その他
- 7 出席者 委員 13 名
吉田和徳 津金永二 輿水哲男 植松浩子 小池まき子 内藤律子
鈴木今朝和 石川千春 原かつみ 三井 茂 赤岡直樹 麻川 仁
清水敏彦

事務局 8 名
市民部長 伊藤勝美 健康増進課長 浅川正人
企画予防担当 長田恵美子 佐藤悦子
保健指導担当 三井ひろみ 廣瀬佐智子 白倉百合香 中田貴美子
- 8 欠席者 2 名
浅川健圃 八巻浩人
- 9 署名録委員
輿水哲男 石川千春

1. 開会あいさつ

2. 委嘱状交付

各委員に委嘱状の交付を行う（任期平成25年4月1日から平成27年3月31日）。

3. 市長あいさつ

空梅雨を心配したわけですが、稲も順調で何とか豊作を願うところです。北杜市も9年目を迎え、その間皆様にはそれぞれの立場で、ご協力をいただき感謝申し上げます。しっかりとした礎を築くべく頑張っているところです。委嘱式並びに第1回健康づくり推進協議会の開催にご参加いただき、また委嘱にご快諾いただき有難うございます。

行政に甲乙はないが8つの杜づくりを継承しながら、安全・安心で明るい杜づくりを政策の大きな柱として推進しているところです。誰しも健康で長生きしたいのが共通の願いであり、この協議会の役割は重大であります。長い経験のなかで行政に対して積極的にご提言ご指導をいただければ有難いところです。山梨県は元気老人が多く、介護を受けないハイレベルな県です。健康長寿日本一をめざしお互いに頑張りたいと思います。

4. 自己紹介

委員・職員自己紹介

5. 会長・副会長の選出について

【事務局】 会長副会長の選任について、設置要綱第6条により委員の互選によることとされています。委員の皆様ご意見ございますか。

【委員】 事務局一任

【事務局】 事務局案として会長 吉田委員、副会長 母子愛育会 内藤律子委員でお願いしたいと思いますがいかがですか。

【委員】 拍手で承認

【事務局】 それでは、会長副会長を代表して会長の吉田会長にご挨拶をお願いします。

6. 会長あいさつ

会長に推薦されました吉田といたします。2年間経験がありますが、マンネリに陥らず委員の斬新な考えで健康北杜市を作っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

7. 議 事

(1) 健康づくり推進協議会の役割について

【事務局】 資料で説明する。

(2) 北杜市第2次健康増進計画について

【事務局】 北杜市第2次健康増進計画を説明する。

(3) 平成24年度事業実績及び平成25年度事業計画について

【事務局】 資料2、資料4を説明する。

【委員】 2点伺いたい。乳児健診100%でないが未受診の子供の対応をどのようにしているか。資料4のアンケートを%で表しているが対象母集団が何人で回収が何人のうちのパーセントになっているかを教えてほしい。

【事務局】 1点目の質問ですが、欠席の方には必ず電話・訪問等で赤ちゃんの様子を聞いています。2点目の指標の母集団の人数ということですが、乳児健診に参加した方の問診票の中から割合を取っています。母集団は対象者となり、そのうちの参加した方の問診票乳児健診にきたかたの回収数となり、そこから%を算出しています。

【委員】 アンケートの方は母集団は母子手帳の交付者数となっているようだ。受診率についてなぜこの質問をしたかという、以前押し入れに赤ちゃんを隠して児童手当を不正受給していた悲惨な事件があった。未受診の数からそういうことに気づくから聞きました。

【会長】 健康診断を受診しない方には、虐待育児放棄に当たるのではないかと思う。年間300人弱の出生だが、不幸な子供が出ないように目を光らせておいてもらいたいです。

【委員】 初めて参加したが、この協議会の役割は何か。資料の精査をするのか、行政のチェックをするのか、我々は何をするのか。第2回増進計画を達成するために何か講演会を企画するのか、事業報告があったがその事業の手伝いをするのか。第2回増進計画を具体的なことを話す場かと思ったが、今後どのようなことをするのか具体的に何をするのか教えてもらいたい。

【事務局】 増進計画を推進していくのは、自分自身であり、家族、行政、地域である。委員は地域の代表であり各組織を背負ってきていただいています。この協議会で審議し、情報を共有したものを地域に戻って、出来ることを審議してもらおうということになります。

【委員】 組織に戻って、この計画に沿えることを考えていきたい。資料がとても苦労されていてよくできた資料だが、資料は補足説明用であるが、事業計画資料は箇条書きの方がわかりやすいし短時間で質疑ができるので、誰が見てもわかりやすい箇条書き資料にした方がいいと思います。ご検討をお願いしたい。

【事務局】 資料は内部で検討します。

【会長】 次に青年期についてお願いします。

【事務局】 資料3を説明する。

【委員】 健診について、受診率が低いという話だが、愛育会でも特に30代の受診率を上げたいと、託児を3年前から取り組んでいます。託児をしているパンフレットを作って手渡したりしているがなかなか広がっていかない。愛育会でも取組の反省をしながら来年度に向けていきたいが、市として若い人に働き掛ける手立てはないのか。健康を守るために総合健診が大事だという強力な働きかけができないか。若いお母さんたちが自分の身体を守ることが家庭生活を守ることに繋がると思う。

【事務局】 若い方が健診を受けようと思う条件、受けたいと思う状況のご意見をいただきたいです。

【会長】 委員の中で30代から健診を受けていた方はいますか。その時の話をしてください。

【委員】 北杜市は国民健康保険であれば人間ドックを受けられるが、前住所では夫の保険で健診を受けていたが、その時は子供を連れて近所誘い合わせて受診していました。

【会長】 健診は自発性と環境である。社会保険で義務づけられていれば別だが、国保の方はほとんど受けていないのが現実ではないか。

【委員】 行政区長としての立場から受診率が行政区ごとに把握出るのであればフィードバックし、区長会等で働き掛けできるのではないか。よその地区の様子がわかれば皆で行こうという気持ちになると思う。行政区を巻き込むことは有効ではないかと思う。

【会長】 例えば、30代の受診率が高い自治体があったらどういう方法かを調べられますか。地域性もあると思うが、団地で同じような年齢であれば誘い合って受診できるが、過疎地では、近所に子どもがいないのでお母さん同士が仲良くなる機会は少なく、誘い合うのは難しくなる。受診率が減り続けているのが気になる。受診率100%が目標であるが程遠いので、30代40代は病気になりにくい年齢だが、病気に対する自覚、他人事でないという感覚を植え付ける事が大事で、具体的にどうするか知恵を出し合っていたいただければと思います。

【委員】 以前、健診の場所が集落の公民館であったが、今は保健センターに行かないとできない。集落なら近いから行こう、保健センターまでは行かれない。年齢にかかわらず健診の場所については難しいです。

【事務局】 健診項目が増えたことにより、バスの台数が多くなり、1日に受診する人数も多くなっていて、バスがおけて人が収容できるとなると会場が限られてしまいます。

【会長】 白州町でも体育館でやるようになったら、遠くなりバスで行かなければならない。健診が終わってもすぐ帰れず、暑い時期には食事をとらないで長時間いて、具合が悪くなって病院に運ばれるというケースがあった。大きい会場で行ようになった弊害もあるのかもしれない。やはり若い人は病気に対する関心がない。

【委員】 何を中心に話をしているのかわからない。国民健康保険の人のことか、職業についている人は職場で健康に関することは年齢を刻んでやっているはずだ。その人達にも受けさせるような体制について話している感じがする。国民健康保険に加入している人に絞って話をしてもらいたい。

【事務局】 特定健診は保険者の責任なので国保の方が対象だが、がん検診は保険に関係なく北杜市で実施し受診できるので2段構えになっています。がん検診の受診率も高くはないが、今問題になっているのは30代40代の国民健康保険の方の特定健診受診率が低い事、そのことが健康増進課で課題になっているところです。

【委員】 きちっと分けて話をしてもらわないと、若い人全体が受診していないと取れる。こういう立場の人の健康状態が思わしくないなので、どうしたらいいのかとその分野の関わる人の話にまとめ、とどめてもらいたい。

【委員】 国民健康保険や社会保険に関係なく市民全体の立場の見方も必要ではないか。事細かな受診率を調べてほしい。食生活改善推進委員会では食育として、保育園年長児親

子と毎年関わるので、食育の視点ではなくお母さんの視点で、保健師、栄養士に健診の話と一緒にしてもらえればいいと思います。

【委員】 私たちの役割は何か、最初に役割の説明をしていただいたので、委員それぞれが色々なところで役割を与えられている。町ではこう計画を考えているが、その計画に沿って、その立場、立場で考えれば、任務が達成できるのではないかと解釈している。小池さんの意見は小池さんの立場で関わっているので十分役割を果たしていると思う。そういう理解でいいのか、事務局にお聞きしたい。

【事務局】 まさにそのとおりです。市の健康づくりのために推進役として協力していただきたいし、知恵を出し合ってなお一層事業を推進していきたい。健診受診率は県下14市のうちでは北杜市が1番であり、町村を含めると4番目です。それでいいというわけではないが、上位に位置しています。国の目標も当初60%であったが、現在では50%です。北杜市もあと少しで50%に達するところです。がん検診受診率については、胃がんが低いバリウム健診が多く、人間ドックが主体になっています。お年寄りには年に1回は健診を受診していると捉えています。この資料ではがん健診の種類によっては受診率が事実と異なるところもありますが、各分野の中でご協力、ご意見をいただきたいと思います。

【委員】 健康増進計画もすばらしいし、健康増進課でもいろいろな事業を推進していますが、計画の中でいいと思ったところは、高齢期65歳以上のところで、会合時には必ず運動時間を入れるという、地域でできる項目がある。これならそれぞれの団体で力を尽くさなくても、市全体で簡単な体操など市民全体で取り組んでいることだという事で、地域に広めるアドバルーン的に掲げていったらどうか。そうすることによって健康づくりに市民全員が関心をもてるようになると思います。

【委員】 若い人の健診率が低いという事だが、若い人全体の中での受診率を出した方がいい。さらに国保で%、社保で%と数字を出すのはさらにわかりやすいし、そうするとそれほど低くはないと思うし、力を入れていかなければならないところや焦点が明確になる。全体的な運動を市になったことで、健康づくりのためにアドバルーンをあげていき、それに向かって地域や区で取り組んでいくんだという形になっていけばいいと思う。

次に、はつらつシルバーについて、詳しく説明していただきたい。

【事務局】 保健福祉推進員という組織があり、委嘱状を交付し、各地域で概ね65歳以上の方たちを対象に、身近なところで介護予防を目的に、歩いて行けるところに、お茶のみ感覚で集まって話をしたり、ゲームをしたりする場所があるという、家の中に閉じこまらず、人と逢ったり集まれる場の確保のために行っていて、高齢者に集まってやってくださいではできないので、音頭取り役でやっていただいている事業です。開催回数も平成17年度から年々増えていて参加人数も去年は延べ1万人を超えています。社会福祉協議会に委託しているが、推進員ひとりではできないので、区長やボランティア団体や食生活改善推進員などと協力して実施してもらっています。

【事務局】 北杜市全体で取り組めるものという意見があったが、会議の前に実施する体操は北杜市では特徴あるものは示せませんが、みんなが知っているラジオ体操等を健康増進課でも取り組んでいます。何か良いものがあれば情報を共有していきたいです。

【事務局】 体協とタイアップして体操を普及していきたいです。

【事務局】 先日武川町の杖を使った運動が山日新聞で報道されました。そういった特徴あるものを取り入れていきたい。

【委員】 ラジオ体操は長いです。

【委員】 年齢が増すとラジオ体操はハードです。はつらつシルバーを対象にするならもっと簡単なものが良い。

【事務局】 ラジオ体操にも第1から第3までありますがどうですか。

【会長】 小学校でのラジオ体操の実情はどうですか。若い世代ではラジオ体操を知らない人もいないのでしょうか。

【委員】 学校によって違いはありますが、以前は小中学校とも、全国どこに行っても誰でも知っている準備体操はラジオ体操でしたが、今は例えば水泳の前には、別の準備運動を取り入れるなど運動に合った体操を取り入れています。結果的に、段々とラジオ体操は扱わなくなってきた気がします。

【会長】 体協で考案したらどうでしょう。

【委員】 会議の前には体操をするという雰囲気をつくると、市が健康づくりに力を入れているんだとなり、みんながそういう気持ちになっていくことが第一歩だと思う。そうすると健康づくりにも関心を持ち、健診にも行こうという気持ちが出るのではないのでしょうか。

【会長】 事務局でこの意見を取り入れてもらいたい。

【委員】 ヘルシーレストランパンフレットの裏にある体操はどうでしょうか。

【事務局】 運動指導士の運動なので、万人にできるかというところとラジオ体操より難しいです。

【委員】 難しいものでなくて良い。その雰囲気づくりが必要です。

【委員】 今、食と運動が大事と言う事なので、健康教室のパンフレットの裏に運動を載せるなどしていくようなことで良いと思う。

【委員】 委員の年間のスケジュールの紹介をしていただきたいことと、資料の中の具体策の中にいくつかメニューがあるが、保健福祉推進員の事業はメンタルケアからいくと、はつらつシルバーなどは高齢者などにはよりどころであり適切な事業です。しかし数多く事業があるので、市民に分かりやすく事業の整理をしたらどうか要望します。分けなければならぬ事情もあると思うが、こういう事の中にこの事業があるとか、1つ1つ区切られると、どこに話をしたらいいかわからないので、一緒にできる事業があればそういう形にしてもらいたい。1点目の質問だけ教えていただきたい。

【事務局】 年3回開催してきました。1回目は、7月に本日のような会議内容を実施し、2回目は9月開催し、市の健康福祉大会を福祉部と市民部合同で開催していますが、その中で健康づくりに関する標語を学校を中心に募集するので、その標語の選定をしていただき、3回目は1年間開催してきた課題とか来年に向けて等の内容です。

【委員】 資料4のH28年の目標欄に具体的数字が入っていないので入れるべきと思います。

【事務局】 目標はすぐに達成できるものではないが、1年1年、前に進んでいければ良い、漠然的だがこのようにさせていただいています。

【委員】 右肩下がりという表現も具体性がないと言われています。ある程度数字的な

ものは付けた方が良い。

(4) 健康づくり標語について

【事務局】 資料で説明する。

【委員】 文字数に決まりがあるか。

【事務局】 標語なので5、7、5です。

(5) その他

【事務局】 ところの健康講演会の案内、次回審議会の実施について説明する。

【事務局】 次回協議会について、健康標語の審査をしていただきます。予定としては9月9日の週、夜の会議になりますがよろしくお願ひします。

8. 閉会あいさつ

【副会長】 活発なご意見有難うございました。市民の健康に関心を持って、自分たちの団体に役に立てるようまた、これからも市の方へ注文をだし、職員があたふたするようになればいいと思ひました。次回もよろしくお願ひします。

—午後4時25分閉会—

署名録委員 氏 名

氏 名